

地球科学輻合ゼミナール

(2011年度 後期 第2回)のご案内

衛星観測による 海水準変動検出へのアプローチ

福田 洋一

京都大学 大学院 理学研究科 地球物理学分野

海水準変動は、地殻変動、ポストグレースシャル・リバウンド、氷床融解、グローバルな水循環など、地球科学のさまざまな現象と複雑に関連した典型的な学際的研究対象の一つである。特に、現在の海面上昇速度を見積もることは、地球温暖化と関連した氷床融解など、地球環境のモニタリングとしても重要な課題である。しかし、年にわずか数mmの海面上昇を、正確に測定することはそれほど容易なことではなく、10数年前までは、ほとんど不可能なことのようには思われた。これを可能としたのは、衛星高度計を中心とする1990年代以降の宇宙測地技術の進展で、最近の衛星重力観測では海面上昇を水の質量変化として捉えることも可能となっている。海水準変動に関連した話題を中心に、衛星高度計、衛星重力などの衛星観測とその応用について述べる。

10月19日(水) 午後4:30～午後6:00

場所：理学研究科6号館 303号室